

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	ホーム独自及びグループ全体の理念のホーム内掲示、毎朝の唱和は出来ているが、日々のサービス提供場面においてその理念が実践できているか又どうすればケアに反映されるかを考えていく	日々のサービス提供場面を振り返る中で、更に理念の共有と実践ができるよう各職員が具体的な目標を定め、ケアに反映していくようにする	各職員1ヶ月毎の目標を決め、自己評価、さらにリーダー、管理者も評価をし、自分の足りない部分、苦手な部分を改善していく	12ヶ月
2	35	ホーム内の飲料水、非常用食料備蓄はできているが、生活用水の備蓄はできていない。又地域密着型ということで災害時地域の方々との連携の面からできることは何かを今後考えていきたい	生活用水の備蓄、又災害時はホームを避難場所とすることも可能であり、地域との連携をはかっていく	地域の防災訓練参加、又ホームでの訓練にも参加をお願いし、お互い協力しあうことをお願いする。施設行事、運営推進会議のご案内をし、入居者様、職員ともさらに顔なじみになれるようにする	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。